

フジパングループPresents 2024ロバパンCUP 第56回全道U-12サッカー大会 釧路地区予選 兼 第53回道新旗U-12釧路サッカー大会

開催要項

- 目的 釧路の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、2024年度第56回全道サッカー少年団大会に釧路地区代表として出場するチームを決定する。
- 名称 フジパングループPresents2024ロバパンCUP第56回全道U-12サッカー大会釧路地区予選兼 第53回道新旗U-12釧路サッカー大会
- 主催 釧路地区サッカー協会 北海道新聞釧路支社
- 主管 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 後援 釧路市教育委員会
- 期日 2024年6月23日(日)、6月30日(日)、予備日：7月7日(日)
※但し運動会が日曜日に延期された場合は、土曜日に開催する場合もある。
- 会場 釧路市民陸上競技場附属競技場／阿寒町多目的広場
- 参加資格
 - 2024年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること。
※合同チームでの参加は「(公財)北海道サッカー協会第4種大会における合同チームの参加規定について」に記載されている内容が満たされていることを条件とする。
 - 参加選手は、「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)北海道サッカー協会第4種登録選手であること。
 - 選手エントリーは16名以内とし、学年構成は問わない。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - 本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
 - 帯同審判を2名以上帯同できるチーム。審判業務を最優先で行うこと。
- 競技規則 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。ただし、詳細に関しては本大会用として競技方法に定める。
- 競技方法
 - 1次ラウンド(予選リーグ)
 - 10チームを4チーム及び3チームずつの3ブロックに分け、各ブロック総当たりのリーグ戦を行い、各ブロックの2位までのチームが決勝トーナメントに進出する。
 - 1次ラウンドの順位決定は勝ち点(勝ち：3、引き分け：1、負け：0)、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順で決定する。
 - 1次ラウンドの3位以下のチームは、フェニックストーナメントに参加する。
 - 決勝トーナメント
 - 各ブロックの2位以上のチーム、計6チームによるトーナメント戦を行う。
 - 勝敗が決しない場合は、PK方式(3人ずつ)で次回進出チームを決する。決勝のみ6分間(3分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式(3人ずつ)で優勝チームを決定する。
 - 決勝トーナメント1回戦で敗戦したチームは、フェニックストーナメントに参加する。
 - 競技者の数および交代
 - 1チーム8人の競技者によって行われる。
 - チーム構成は、指導者2名以上4名以内(うち1名は資格を有する者)、選手16名以内とする。
 - 登録できる交代要員及び交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
 - ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
 - ベンチ入りの人数
 - ベンチ入りは交代要員8名以内、引率指導者2名以上4名以内とする。
その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
 - 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
 - テクニカルエリアは設置しない。
 - 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。
 - 懲罰
 - 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。
 - 競技者が退場を命ぜられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
 - 1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会(4種事務局)で決定する。
 - 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
 - 試合時間は30分(15分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
ただし決勝は40分(20分ハーフ・ハーフタイム5分)とする。
 - 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
 - スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。

- (12) ピッチサイズは68m×50mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
- (13) 主審、副審（2名）、予備審判の4名で運営する。
- (14) 準決勝以上の試合においてマッチウェルフェアオフィサーを配置する。

- 11. ユニフォーム
 - ①（公財）日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、②以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
 - ②本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。（正・副の2色については、明確に異なる色とする。ただし、ゴールキーパーのショーツ、ソックスはフィールドプレイヤーと原則として別色が望ましいが、同系色でも良いこととする。なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
 - ③ユニフォームの組み合わせについては、その都度審判部より連絡を行う。
 - ④ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑤アンダーシャツの色は問わないが、シャツの袖と違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑥アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、ショーツと違う色を着用する場合は、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑦選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを着用する。
- 12. 全道大会 優勝チームは、7月27日(土)～7月29日(月)に苫小牧市で開催される「第56回全道サッカー大会」への参加を義務づける。
- 13. 参加申込 4月17日(月)までに、4種総務部長へエントリー用紙をメールで送付する。
- 14. メンバー表 大会プログラム用のメンバー表は、6月11日(火)迄に、4種総務部長へメールで送付する。
- 15. 組合わせ 6月11日(火)の監督会議にて抽選を行う。
- 16. 開会式 行わない。
- 17. 閉会式 決勝戦終了後、決勝戦会場にて行う。
決勝まで残ったチームの選手・監督は全員参加することを基本とする。
- 18. その他
 - ① 本大会の参加料は、1チーム3,000円とする。
 - ② 参加チームは初日に電子登録証（一覧表、電子媒体等）の確認を行う。
 - ③ 出場するチームは3級以上の審判、あるいは4級強化指定を受けた審判を1名以上帯同する。
帯同できない場合は、不帯同審判料を事務局に支払う。
 - ④ 全道大会には3級審判員2名以上の帯同が義務づけられている。